

基準地番号	提出先	所属分科会名	業者名	株式会社ライン不動産鑑定所
八百津（県） - 1	岐阜県	岐阜第1	氏名	不動産鑑定士 伊藤 正雄 印
鑑定評価額	4,150,000 円	1㎡当たりの価格	19,300 円/㎡	

## 1 基本的事項

(1) 価格時点	令和 3 年 7 月 1 日	(4) 鑑定評価日	令和 3 年 7 月 13 日	(6) 路線価	[令和 3 年 1 月] 路線価又は倍率	円/㎡
(2) 実地調査日	令和 3 年 6 月 28 日	(5) 価格の種類	正常価格		倍率種別	1.1 倍
(3) 鑑定評価の条件	更地としての鑑定評価					

## 2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

(1) 基準地	①所在及び地番並びに「住居表示」等	加茂郡八百津町八百津字不二 3 7 4 2 番 3				②地積 (㎡)	215	⑨法令上の規制等	(都) (70, 200) (その他)			
	③形状	④敷地の利用の現況	⑤周辺の土地の利用の状況	⑥接面道路の状況	⑦供給処理施設状況	⑧主要な交通施設との接近の状況						
	1:1.5	住宅 W 2	中規模一般住宅のほかに店舗等も見られる住宅地域	西6m町道	水道 下水	明智 8.3km						
(2) 近隣地域	①範囲	東 30 m、西 30 m、南 60 m、北 145 m			②標準的使用	戸建住宅地						
	③標準的画地の形状等	間口 約 12.0 m、奥行 約 17.0 m、規模 200 ㎡程度、形状 ほぼ長方形										
	④地域的特性	特記事項	特にない	街路	基準方位：北、6 m町道	交通施設	明智駅北東 8.3km	法令規制 (都) (70, 200)				
	⑤地域要因の将来予測	八百津町中心市街地に形成される既成の住宅地で固定的、安定的であってやや地縁性が強い。町内にあつては人口の減少傾向が継続しており、新型コロナの影響もあつて地価は下落傾向で推移するものと予測する。										
(3) 最有効使用の判定	戸建住宅地				(4) 対象基準地の個別的要因	方位 0.0						
(5) 鑑定評価の手法の適用	取引事例比較法	比準価格	19,300 円/㎡									
	収益還元法	収益価格	/ 円/㎡									
	原価法	積算価格	/ 円/㎡									
	開発法	開発法による価格	/ 円/㎡									
(6) 市場の特性	同一需給圏は八百津地区内のみならず野上、和知、伊岐津志等郊外を含む住宅地域全般。需要者の中心は町内、可児市、美濃加茂市等の事業所に勤務する勤労者。八百津中心地区に形成される既存の住宅地である。町外からの人的流入はまれでやや地縁の選好性も認められる。土地供給は散発的で土地の需要も弱い。需要の中心となる価格帯は概ね300万円～400万円程度であり、新築建売住宅の販売は見られない。											
(7) 試算価格の調整・検証及び鑑定評価額の決定の理由	比準価格は類似地域内の取引事例を収集、信頼性の高い資料を選択、採用して試算しており実証的である。また、収益還元法については、地域内には共同住宅等の収益建物の立地は見られず、賃貸市場は未熟成で、更には需要者は自用目的での取引が中心であることから収益不動産建設を想定することは合理性を欠くので同手法は非適用とした。よって市場の実態を反映した比準価格を採用し、更に指定基準地等との検討を踏まえ、鑑定評価額を上記のとおり決定した。											
(8) 公示価格とした	①代表標準地	標準地	②時点修正	③標準化補正	④地域要因の比較	⑤個別的要因の比較	⑥対象基準地の規準価格 (円/㎡)	⑦内訳	標準化補正	街路 0.0 交通 0.0 環境 0.0 画地 +3.0 行政 0.0 その他 0.0	地域要因	街路 +0.5 交通 -6.3 環境 -24.0 行政 0.0 その他 0.0
	八百津 - 1		[ 98.4 ] 100	100 [ 103.0 ]	100 [ 71.6 ]	[ 100 ] 100	19,300					
(9) 指定基準地からの検討	①指定基準地番号	②時点修正	③標準化補正	④地域要因の比較	⑤個別的要因の比較	⑥対象基準地の比準価格 (円/㎡)	⑦内訳	標準化補正	街路 0.0 交通 0.0 環境 0.0 画地 +1.0 行政 0.0 その他 0.0	地域要因	街路 -0.8 交通 +22.4 環境 -14.0 行政 0.0 その他 0.0	
	川辺（県） - 1	[ 99.0 ] 100	100 [ 101.0 ]	100 [ 104.4 ]	[ 100 ] 100	19,200						
(10) 対象基準地の前年標準価格等の検討	①-1対象基準地の検討 ■継続 □新規		前年標準価格 20,100 円/㎡		③ 価格形成要因の変動状況	[一般的要因] 過去5年間の人口減少率は6.8%と高水準にあり、美濃加茂市近接地区は比較的安定するも、中心部の空洞化が懸念される。						
	①-2基準地が共通地点(代表標準地等と同一地点)である場合の検討 □代表標準地 □標準地		標準地番号 - 公示価格 円/㎡			[地域要因] 中心市街地に形成される既存の住宅地で熟成、安定しており地域要因の変動はない。						
	②変動率		年間 -4.0%	半年間 %		[個別的要因] 個別的要因に変動はない。						

鑑定評価書（令和 3 年地価調査）

Table with 5 columns: 基準地番号, 提出先, 所属分科会名, 業者名, 株式会社ライン不動産鑑定所. Includes address 八百津（県） - 2 岐阜県 岐阜第1 氏名 不動産鑑定士 伊藤 正雄 印

Table with 4 columns: 鑑定評価額 (4,880,000 円), 1㎡当たりの価格 (15,400 円/㎡)

1 基本的事項

Table with 6 columns: (1) 価格時点, (2) 実地調査日, (3) 鑑定評価の条件, (4) 鑑定評価日, (5) 価格の種類, (6) 路線価, [令和 3 年 1 月] 路線価又は倍率, 倍率種別, 円/㎡, 1.1 倍

2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

Main evaluation table with 10 sections: (1) 所在地及び地番並びに「住居表示」等, (2) 近隣地域, (3) 最有効使用の判定, (4) 対象基準地の個別的要因, (5) 鑑定評価の手法の適用, (6) 市場の特性, (7) 試算価格の調整・検証及び鑑定評価額の決定の理由, (8) 公示価格とした, (9) 指定基準地からの検討, (10) 対象基準地の前年標準価格等の検討. Includes detailed data on location, area, and price adjustments.

鑑定評価書（令和 3 年地価調査）

Table with 5 columns: 基準地番号, 提出先, 所属分科会名, 業者名, 株式会社ライン不動産鑑定所. Includes address 八百津（県） - 3 岐阜県 岐阜第1 氏名 不動産鑑定士 伊藤 正雄 印

Table with 4 columns: 鑑定評価額 (7,850,000 円), 1㎡当たりの価格 (15,100 円/㎡)

1 基本的事項

Table with 6 columns: (1) 価格時点, (2) 実地調査日, (3) 鑑定評価の条件, (4) 鑑定評価日, (5) 価格の種類, (6) 路線価, (7) [令和 3 年 1 月] 路線価又は倍率, (8) 倍率種別, (9) 円/㎡

2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

Main evaluation table with 10 sections: (1) 基準地, (2) 近隣地域, (3) 最有効使用の判定, (4) 対象基準地の個別的要因, (5) 鑑定評価の手法の適用, (6) 市場の特性, (7) 試算価格の調整・検証及び鑑定評価額の決定の理由, (8) 公示価格, (9) 指定基準地, (10) 対象基準地の前年標準価格等の検討. Includes detailed data on location, area, and price adjustments.